

白板地区

令和4年度

推進交付金:650,000円

取組み 1 住みよい町づくり協議会事業

推進交付金の活用

有

(1) 目的

住みよい町づくり協議会を開催し、子どもから大人まで安心していきいきと暮らすことのできる地域づくりを目指します。

(2) 取組み

ア 部会の活動

地域課題の解決にむけて、3つの部会に分かれて課題を検討し、事業に取り組みました。新型コロナウイルス感染症の影響により、会議の開催や事業の実施に制約を受けましたが、できる範囲で活動を続けました。

(ア) 防災隊

「防災意識の向上と災害時に助け合える体制づくり」を活動目標に掲げ、防災講演会の開催、防災講座及び日赤奉仕団による炊出し訓練、町会防災マップの修正・配布、シェイクアウト訓練への参加、防災備品の整備などを行いました。

○防災講演会(令和4年11月15日)



○防災講座・日赤奉仕団による炊き出し訓練(令和4年11月23日)





(イ) すこやか隊(高齢者支援)

活動目標に掲げた3本柱(①福祉ひろばでの「100えんカフェ」の開催、②買い物支援、③担い手づくり)に取り組みました。

福祉ひろばから離れた地区からも「100えんカフェ」に来られるよう、タクシーを活用した送迎を試行しました。

白板地区ケア会議と兼ねて、買い物支援・移動支援について考える「白板地区クリスマス・マルシェ」を開催しました。また、担い手づくりの取組みを進めるため、各町会にアンケート調査を実施しました。

○100円カフェの開催



(大人の読み聞かせ)



(地区で活動するバンド・コンサート)



(珈琲講座)



(地区の方による落語講演)

○クリスマス・マルシェ(12月24日)



(ウ) つながり隊 (子供育成)

「子どもの支援と住民同士の交流の充実を図る」ことを活動目標として掲げ、活動しました。

毎月第2水曜日を中心に、田川小学校及び開智小学校児童の下校時の見守り活動を実施しました。

白板地区子ども会育成会との共催事業「焼きいも大会」の11月12日開催に向け、食育を兼ねてサツマイモを栽培しました。焼きいも大会自体は、新型コロナの影響を考慮し中止となりました。

○田川・開智小学校の下校時見守り活動(毎月第2水曜日)



○焼き芋大会(サツマイモの植え付け)



イ 会報「白板地区だより」の発行(毎月)

協議会の活動を広く地区住民の皆さんに知らせるため、協議会だより、公民館だより、福祉ひろばだよりを一体化した「白板地区だより」を毎月発行し、全戸配布しました。

同時に松本市ホームページにも掲載し、誰でも閲覧できる環境を整えました。



(3) 今後の展開

各部会で検討された課題解決に向けて取り組むとともに、多くの方に興味や関心をもってもらえるよう、広報の充実に努めます。

取組み 2 地域の防災体制整備事業

推進交付金の活用

有

(1) 目的

地区内の防災体制を整備し、災害発生時にお互いに助け合える地域づくりを進めます。

(2) 取組み

「防災隊部会」において、備蓄品の保管や災害時の対策を検討した結果、白板地区公民館が避難所となることを踏まえ、公民館に災害時に使用できるアルミ組立リヤカーを購入しました。



また、町会で作成した防災マップ(災害時の一時集合場所や要援護者宅を記載した地図)を見直し、修正した最新の地図を町内に配布しました。

(3) 今後の展開

ア 災害時でもスムーズに活用できるよう、令和5年度には防災備品の有効活用を図っていきます。

イ 防災には、住民同士の日頃のコミュニケーションが重要です。しかし、昨今のコロナ禍で人間関係がますます希薄となっています。そこで、令和5年度の協議会の全体目標を引き続き「白板地区をつなぐ、顔の見える関係づくり」とし、お互いに助け合いの「わ(和・輪)」を広げていきます。